

ばれいしょ「ながさき黄金」の春作実証栽培の紹介

お問合せ先

農業振興普及課
0920-45-3038

「ながさき黄金」は、県農林技術開発センターで育成され、「インカのめざめ」の特性を引継いだ病気に強い新品種です。鮮やかな黄色で食味がよく、油を使った料理やスイーツの材料に適しています。

令和3年9月から島内2か所で秋作栽培を始め、収穫した結果、5～7玉/株、10aあたり2tの収量性を確認しました。食味はホクホクし、クリのような香りがあります。直売所でテスト販売したところ、他の品種より高めの価格設定でもすぐに完売してしまうなど売れ行きは好評でした。春作についても島内2か所で、10aを栽培し、5月下旬に収穫予定です。春作は秋作に比べ生育旺盛です。

他のばれいしょと差別化できる「ながさき黄金」の産地化を推進するため、市、JA、振興局において生産、販売体制について協議しています。

作付け面積を拡大するには、水田への栽培が重要となってきますので、令和4年秋作は水田での栽培実証に取り組む計画です。



生育状況と開花の様子
黄色の果肉（左下）

にんにく産地の復活に向けて

～にんにく品種選抜試験の取組状況～

お問合せ先

農業振興普及課
0920-45-3038

壱岐においてにんにく栽培は古く、大正時代に福岡県や朝鮮半島から勝本町に導入され、農事試験場で選抜試験を重ねた結果、「壱州早生」が選抜されました。ピーク時には40haの栽培規模を誇っていましたが、その後、輸入規制緩和により中国産にんにくに押され産地は縮小しました。現在は、「嘉定」種を中心に栽培されています。壱岐産のにんにくは風味が良いと実需者から好評を得ており、令和元年度から壱岐にんにく復活プロジェクトとして、機械化体系の整備や壱岐に適した品種の選抜と種球の安定生産体制の確立を進めています。

○品種選抜試験の内容

県農林技術開発センターで保存されていた8品種と嘉定種で比較栽培しています。

令和4年産は現在調査中ですが、有望品種を2品種程選定し、令和5年産は選抜した品種の増産を行う計画です。

試験品種（区画）

壱州 早生	平戸 早生	上海 早生	丸亀	河南
高知 在来	シンガ ポール	加州 早生	嘉定 (慣行)	



生育状況